

### 第3回三条市地域公共交通協議会（書面協議）議題

#### ■協議過程

審議期間 平成27年12月16日（水）～12月24日（木）  
合意に至った日 平成27年12月25日（金）

#### 1 平成27年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（案）について

⇒ 異議なし ただし、次のとおり意見あり

（意見）

- ・利用者数の未達であり、B評価は妥当と判断します。
- ・三条市デマンド交通⑤目標・効果達成状況欄について、実績が低かった点に対する理由、原因の記載が必要と考えます。

→別紙のとおり、理由、原因を記載

#### 2 その他

⇒ 特になし ただし、次のとおり意見あり

（意見）

- ・「おでかけパス」の効果を期待しております。市民への周知をはかって下さい。

→11月30日に下田地域自治会長向け説明会を開催。また、12/16号広報誌と共に、下田地区全世帯にチラシ兼申込書を送付。

## 平成27年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成27年12月25日

協議会名: 三条市地域公共交通協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
越後交通株式会社	福沢線 (福沢～長沢駅跡)	沿線地域住民のニーズを把握するためのアンケート調査の実施内容について、検討を行った。また、三条市内の高等学校に通学する見込みの下田中学校卒業生に対し、利用時間、方法などを記載したチラシを配布し、周知を図った(H27.3)。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 目標に掲げた日平均利用者数5人に対し、平成26年10月～平成27年9月までの実績は2.4人であり、目標を下回っている。 生徒数減少に伴う利用者数減少と思われるが、自家用車送迎による減少も考えられる。	利用促進に向け、下田中学校卒業生に対し、利用時間、方法などを記載したチラシを配布し、周知等を行う。また、沿線地域住民のニーズを把握するためのアンケート調査を実施し、結果の分析を行う。
	高校生通学ライナーバス (東三条駅～県央工業高等学校)	利用促進に向けて市広報紙による啓発を実施した(H27.8)。また、三条市内の高等学校に通学する見込みの下田、大崎中学校卒業生に対し、利用時間、方法などを記載したチラシを配布し、周知を図った(H27.3)。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 目標に掲げた日平均利用者数35人に対し、平成26年10月～平成27年9月までの実績は20.7人であり、目標を下回っている。 生徒数減少に伴う利用者数減少と思われるが、自家用車送迎による減少も考えられる。	利用促進に向け、下田、大崎中学校卒業生に対し、利用時間、方法などを記載したチラシを配布し、周知等を行う。
	市内循環バス南コース (市内)	沿線住民アンケートを実施(H26.12)し、循環バスに対する意識調査を行った。また、市広報紙を通じてコースの周知を図り、利用促進に努めた(H27.8)。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 目標に掲げた日平均利用者数100人に対し、平成26年10月～平成27年9月までの実績は76.9人であり、目標を下回っているものの、平成26年度よりも利用者が増加している(10人程度増)。	引続き、利用の促進を図るとともに、他のルートも含めた中で抜本的な見直しに向けた中期的計画を検討する。
	市内循環バス北コース (市内)		A 計画どおり事業は適切に実施された。		
	市内循環バス嵐南コース (市内)		A 計画どおり事業は適切に実施された。		
市内循環バス嵐北コース (市内)	A 計画どおり事業は適切に実施された。				
株式会社エス・タクシー	三條市デマンド交通 (三條市内)	利用者アンケートを実施(H26.12)し、料金値上げ後の利用者の動向を調査した(利用をやめた方への追跡調査は、その方を特定することが困難なため未実施)。また、利用促進に向けて市広報紙による啓発を実施した(H27.8)。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 目標に掲げた日平均利用者数400人に対し、平成26年10月～平成27年9月までの実績は313.2人であり、目標を下回っている。 平成26年1月の利用料金見直し(値上げ)以降、見直し前に比較して日平均利用者数が約25%減少しており、平成26年12月に実施した利用者アンケートによれば、「値上げにより利用回数が減った」と回答した方が全体の約20%となっていることから、値上げによる負担増が影響していると考えられる。また、利用が減った代替の移動手段として、「徒歩又は自転車」となっており、市街地内(近距離帯)の利用者減につながっていると思われる。	複数乗車率向上・利用促進に向けた、新たな取組(三條市デマンド交通 おでかけパス)を実施する。また、利用者アンケートを実施し、結果の分析を行い、利用促進への検討を行う。
三條タクシー株式会社			A 計画どおり事業は適切に実施された。		
中越交通株式会社			A 計画どおり事業は適切に実施された。		
日の丸観光タクシー株式会社			A 計画どおり事業は適切に実施された。		

## ④事業実施の適切性

- A:事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された  
 B:事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった  
 C:事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった

## ⑤目標・効果達成状況

- A:事業が計画に位置づけられた目標を達成した(する見込み)  
 B:事業が計画に位置づけられた目標を達成できていない点があった(一部達成できない見込み)  
 C:事業が計画に位置づけられた目標を達成できなかった(達成できない見込み)